

大衆文化研究プロジェクトニュースレター

No.05 2021



ごあいさつ

昨年度は、国外での教育・アカデミックプログラム（シリーズ講座）や各種シンポジウムを企画していましたが、コロナ禍中により中止を余儀なくされました。しかしながら、各研究班においてオンライン会議システムを積極的に活用するとともに、研究成果の多言語発信や成果出版を行うことに方針転換し、実りある日本大衆文化研究の成果を発信することができました。「日本大衆文化研究叢書」刊行準備のほか、前回のニュースレターでご紹介した「浪曲SPLレコードデジタルアーカイブ」の新規公開、「京都からやってきた妖怪たち：国際日本文化研究センターコレクション」（湯本豪一記念日本妖怪博物館）、「CHINA GRAPHY:日本のまなざしに映った中国」（大阪大学総合学術博物館）の展覧会企画など多岐にわたります。プロジェクトの最終年度に当たる今年度は、これらの活動成果を糧にし、「日本大衆文化の通時的・国際的研究を通しての新たな日本像の創出」に向けて、研究叢書全5巻の刊行や総括シンポジウム企画などに取り組んでまいります。

目次

活動報告

総括班	稲垣智恵
前近代班古代中世チーム	前川志織
前近代班近世チーム	木場貴俊
近現代班近代チーム	前川志織
近現代班現代チーム	アルバロ

活動報告：総括班

「日本大衆文化研究叢書」 全5巻を刊行します

稲垣智恵
日文研 プロジェクト研究員

昨年度は、本プロジェクトの研究成果をなす研究叢書の刊行に本格的に取り組み、株式会社KADOKAWAより「日本大衆文化研究叢書」全5巻を昨年度から本年度にかけて順次刊行の予定です。一般の方も手に取りやすく、大学生・大学院生にとって研究のきっかけになるようなものという思いから、各巻ユニークなテーマを設け、多彩な執筆陣が揃いました。これにより、各班のメンバーがそれぞれの関心やテーマにより横断的に再編成され、前近代班と近現代班の融合が本格化しています。

■第1巻『日本大衆文化史』



編著者：日文研大衆文化研究プロジェクト
執筆陣：大塚英志、伊藤慎吾、香川雅信、久留島元、木場貴俊、北浦寛之、佐野明子、山本忠宏、前川志織、近藤和都、松井広志、オウ・ケイカイ、アルバロ・エルナンデス
定価：本体2500円＋税
発売日：2020年9月18日（電子書籍も同日発売）
ISBN：9784044005634
発行：株式会社KADOKAWA

『日本大衆文化史』は、古代の神話から現代の「初音ミク」まで、大衆を無名の作者と位置付け、時代を超えて、創造・継承・更新される大衆文化の歴史を見通し、「その先」を見据えます。ジャンルを横断して通史でたどる、これまでに無い文化史の教科書です。

■第2巻『禍いの大衆文化 天災・疫病・怪異』



編著者：小松 和彦
執筆陣：小松和彦、福原敏男、香川雅信、高橋 敏、伊藤慎吾、高岡弘幸、齊藤 純、横山泰子、香西豊子、川村清志
定価：本体2500円＋税
発売日：2021年7月28日（電子書籍も同日発売）
ISBN：97840444005641
発行：株式会社KADOKAWA

古代から現代に至るまで、大衆を無名の作者と位置づけ、地震、火事、疫病などの「禍（わざわい）」に襲われた人々が生み出した、文学・絵画・芸能・信仰を解き明かします。恐怖や悲しみを乗り越えるために、人々が創り出したもの、そして願ったことに迫ります。

■第3巻『身体の大衆文化(仮題)』

編著者：安井真奈美、アルバロ・エルナンデス
執筆陣：安井真奈美、木股知史、輪島裕介、山本ゆかり、伊藤龍平、横田尚美、エドモン・エルネスト・ディ・アルバン (Edmond Edo Ernest Dit Alban)、木下知威、木場貴俊、アルバロ・エルナンデス
発売予定日：2021年10月予定

■第4巻『キャラクターの大衆文化(仮題)』

編著者：荒木浩、前川志織、木場貴俊
執筆陣：荒木浩、金水敏、芦津かおり、マイケル・エメリック、井上章一、永井久美子、前川志織、佐々木高弘、木場貴俊、佐野明子、久留島元、青木然、山口記弘、深谷大、近藤和都、江口久美、松井広志
発売予定日：2021年11月予定

■第5巻『戦時下の大衆文化(仮題)』

編著者：劉建輝、石川肇
執筆陣：劉建輝、石川肇、細川周平、山口記弘、秦剛、大塚英志、前川志織、井上章一、鈴木楓太、高媛、王志松
発売予定日：2022年1月予定

なお、第1巻『日本大衆文化史』の副読本として、現代チームが中心となり、近代以降の日本の幅広いポピュラーカルチャー、大衆文化を研究しようとする学生にとって、必読である重要な論考・対談等30篇を集め、論考ごとにガイダンスとなる解説も付したアンソロジーも刊行しました。

書名：『日本大衆文化論アンソロジー』

編者：日文研大衆文化研究プロジェクト（編集委員：伊藤慎吾、内田力、佐野明子、大塚英志）

収録論考著者：柳田国男、加藤周一、今村太平、手塚治虫、小松和彦、ほか

定価：本体1800円+税

発売日：2021年2月25日

ISBN：978-4778317355

発行：太田出版



活動報告：前近代班古代中世チーム

「古典の未来学Projecting Classicism」を刊行

前川志織
日文研 特任助教

古代・中世班と連携している共同研究「投企 する古典性—視覚／大衆／現代」の成果論文集が刊行されました。古典研究の方向や古典性のありかを広く考察し、新しい古典学を提示するものです。

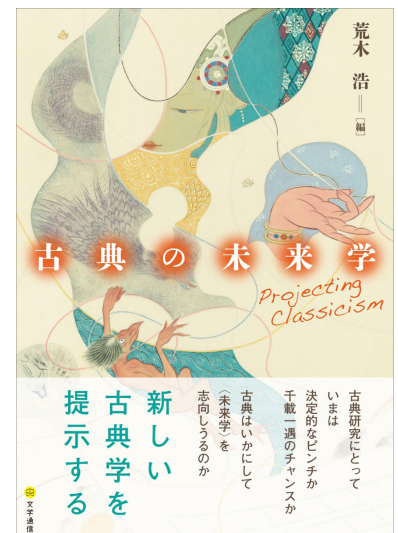
書名：『古典の未来学 Projecting Classicism』

編著者：荒木浩

執筆者：荒木浩、松平莉奈、中前正志、上野 友愛、石上阿希、楊曉捷、他 38名

発売日：2020年11月6日

発行：文学通信



「京都からやってきた妖怪たち 国際日本文化研究センター コレクション」を開催

木場貴俊
京都先端科学大学講師
(元・日文研プロジェクト研究員)



国際日本文化研究センター(日文研)では、広島県三次市にある湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)との共同主催で、令和2年10月15日(木)～12月22日(火)まで、新たに所蔵した三次ゆかりの『稻生家妖怪伝絵巻』など、所蔵資料の展示を開催しました。期間中には、11,800人の方にご来場いただき、盛況の内に展覧会を終了することができました。

また、展示関連のシンポジウム「怪異・妖怪研究と日文研」を11月15日に三次ふれあい会館(三次コミュニティセンター)で開催し、91人の方のご参加がありました。

この展覧会は人間文化研究機構「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」の助成を受け実現しました。

展覧会名：

「京都からやってきた妖怪たち国際日本文化研究センターコレクション」

会期：2020年10月15日(木)～12月22日(火)*休館日：水曜

会場：湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム)企画展示室
(〒728-0021 広島県三次市三次町1691番地4)

シンポジウム「怪異・妖怪研究と日文研」

1. 基調講演「なぜ妖怪を研究するのか」
小松 和彦(国際日本文化研究センター 名誉教授)
2. 研究報告「怪異・妖怪研究の軌跡と展望」
常光徹(国立歴史民俗博物館 名誉教授)
3. 研究報告「日文研妖怪コレクションの見どころ」
木場 貴俊(国際日本文化研究センター プロジェクト研究員)

4. パネルディスカッション「怪異・妖怪研究と日文研」

パネラー：小松和彦・常光徹・湯本豪一
(湯本豪一記念日本妖怪博物館 名誉館長)

コーディネーター：木場貴俊

日時：2020年11月15日14時～16時30分

会場：三次ふれあい会館(三次コミュニティセンター 三次市三次町1828-5)



活動報告：近現代班近代チーム

「CHINA GRAPHY— 日本のまなざしに映った 中国—」を刊行

前川志織
日文研 特任助教

近代以降の日本人旅行者や研究者による中国各地の記録と表象(絵葉書・写真等)をテーマにした展覧会『CHINA GRAPHY—日本人のまなざしに映った中国』の図録が刊行されました(劉建輝・深尾葉子・伊藤謙の共編著による大阪大学総合学術博物館第23回企画展展示図録、発行:日文研、2021年1月刊行)。

本書は、近代班リーダー劉建輝が企画に参加した近代以降の日本人旅行者や研究者による中国各地の記録と表象(地図・絵葉書・写真等)をテーマにした展覧会図録です。国際日本文化研究センター所蔵資料、ならびに大阪大学大学院言語文化研究科・同大学総合学術博物館所蔵資料を利用し、戦前・戦後における中国各地の社会的変化、日本人の中国認識の変容、とりわけその間の両者の連続と断絶を検証し、戦前から今日に至る中国関連の記録・表象の変遷をたどるものです。日文研がこれまで収集してきた吉田初三郎鳥瞰図資料や明治・大正期の日本人が中国を記録した絵葉書や写真など、貴重な作品も紹介されています。

○ 関連情報

企画展「CHINA GRAPHY—日本のまなざしに映った中国—」

会期:2020年10月31日(土)~2021年1月30日(土)

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

主催:大阪大学総合学術博物館/国際日本文化研究センター

共催:大阪大学大学院言語文化研究科

CHINA THROUGH JAPAN'S EYES 日本視点中的中国 日本視線中的中国

日本のまなざしに映った中国

CHINA GRAPHY

大阪大学総合学術博物館 第23回企画展

日時:2020年10月31日(土)▶2021年1月30日(土)
11:00~16:00(入館は15:30まで) 休館日:日曜日・祝日・年末年始
ただし11月22日(日)は特別開館

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

入場料:無料

主催:大阪大学総合学術博物館/国際日本文化研究センター
協力:大阪大学大学院言語文化研究科

本図録には、
日本学術振興会科学研究費補助金(課題研究(B)26283008:研究代表者 深尾葉子、
挑戦的萌芽研究(萌芽)17K18512:研究代表者 伊藤謙)による研究成果の一部が含まれます。

活動報告：近現代班現代チーム

報告書・成果論文集の公開

エルナンデス・エルナンデス・
アルバロ・ダビッド
日文研 プロジェクト研究員



▲ 1『牧野守 在野の映画学 戦時下戦後映画人との対話』



▲ 2『メディア論、メディア表現とファン文化—ワークショップ報告書』



▲ 3『報告書 神戸映画資料館所蔵映画館プログラムのデジタル化・カタログ化 附資料集：神戸映画資料館所蔵映画館プログラムカタログ』

1『牧野守 在野の映画学 戦時下戦後映画人との対話』

近藤和都・森田のりこ・大塚英志編
発行元：太田出版、2021年1月31日
在野の映画史家で北米コロンビア大学マキノコレクションの寄贈者・牧野守氏より委託された戦時下・戦後の映画人のインタビューテープなど200本から三木茂ら8名の映画人を厳選、文字化するとともに、そこに見られる牧野守の方法をめぐる解題を付し、大衆文化研究における在野研究を捉えなおす。

2『メディア論、メディア表現とファン文化—ワークショップ報告書』

2020年8月に行った若手研究者向けのマーク・スタインバーグのワークショップ報告書。Alvaro David Hernandez Hernandez 編 / 発行元：日文研・推進室、電子版2021年03月26日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>

本報告書の構成

前書き：アルバロ・ダビッド・エルナンデス・エルナンデス（日文研）。講義1「プラットフォーム資本主義とメディア表現」 マーク・スタインバーグ（コンコルディア大学准教授）。講義2「徒歩者とサブカルチャー： オタク文化を歩きながら研究するアドベンチャー」 エドモン・エルネスト・ディ・アルバン（コンコルディア大学博士後期課程）。講義3「『2.5次元文化』の現在と、2.5次元舞台ファン」 須川亜紀子（横浜国立大学 都市科学部/都市イノベーション研究院 教授）。コメンテーター 松井 広志（愛知淑徳大学 創造表現学部メディアプロデュース専攻 講師）

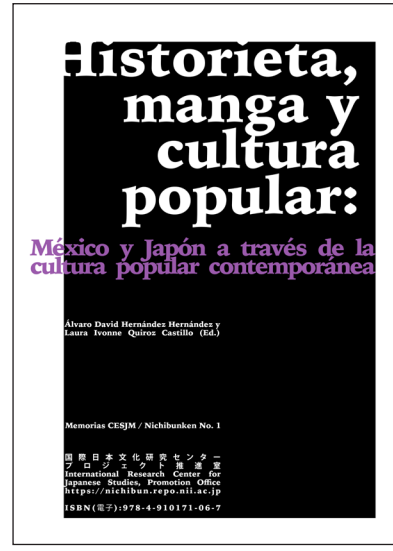
3『報告書 神戸映画資料館所蔵映画館プログラムのデジタル化・カタログ化 附 資料集：神戸映画資料館所蔵映画館プログラムカタログ』

近藤和都編 / 発行元：日文研・推進室、2021年03月5日。

本報告書は、神戸映画資料館が所蔵する映画館プログラムのデジタル化・カタログ化の成果を報告するとともに、同資料を用いた研究可能性を示すために作成された。

本報告書の構成

第1章 本報告書の概要 / 近藤 和都（大東文化大学専任講師）。第2章 神戸映画資料館所蔵資料からたどる映画館プログラムの歴史/近藤 和都（大東文化大学専任講師）。第3章 戦前映画館経営のための「サービス」と施策——1920年代から30年代の松竹座プログラムから探る/北浦 寛之（開智国際大学専任講師）。第4章 映画館プログラムに見る松竹座のサウンドスケープ / 柴田 康太郎（早稲田大学演劇博物館次席研究員）。第5章 「神戸市・兵庫県映画館資料データベース」の設計に関するノート/上田 学（神戸学院大学准教授）。資料集 神戸映画資料館所蔵映画館プログラムカタログ。



1 Dōjin Journal (英語)

Ernest Dit Alban Edmond, Alvaro David Hernandez Hernandez 編、発行元: 日文研・推進室、電子版2020年11月30日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>、紙版も2021年3月刊行。Dōjin Journal は英文による若手研究者の日本大衆文化研究のジャーナルである。

2 Historieta, manga y cultura popular: México y Japón a través de la cultura popular contemporánea (スペイン語)

「漫画と民俗文化」分科会の成果である。Alvaro David Hernandez Hernandez y Laura Quiroz 編 / 発行元: 日文研・推進室、電子版2021年03月26日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>

3 La investigación en México sobre Cosplay, Anime y culturas de aficionados (スペイン語)

「漫画と民俗文化」分科会の成果である。Alvaro David Hernandez Hernandez y Alejandro Gutiérrez Lizardi 編 / 発行元: 日文研・推進室、電子版2021年04月30日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>

4 『韓国純情漫画目録』(日本語・韓国語)

宣政佑(ソン・ジョンユウ)編 / 発行元: 日文研・推進室、2021年02月1日。本書は現代チーム東アジア分科会のせいか報告書である。韓国において1990年代以降、短期的に存在し、しかし、韓国まんが表現の革新を担った「純情漫画」と呼ば

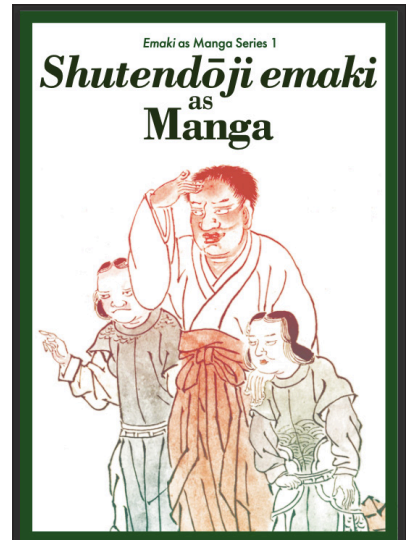
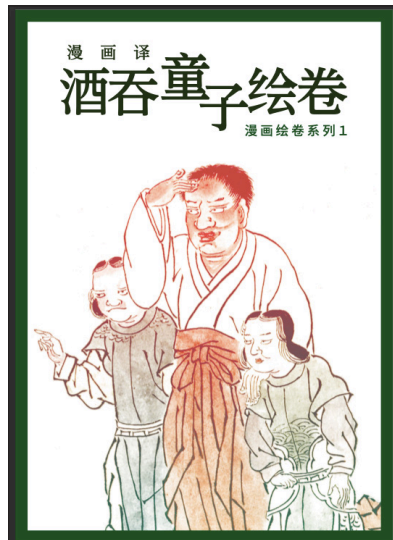
れる領域の専門誌の目次を網羅したものである。日本における「24年組」にも相当し、国際間の漫画史の比較研究の基礎資料ともなる目録である。

5 『漫画絵巻系列1 漫画译 酒吞童子絵巻』(中国語)

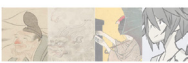
発行元: 日文研・推進室、電子版2021年03月26日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>、まんが訳絵巻物「酒吞童子」の中国語である。

6 Emaki as Manga Series 1 Shutendōji emaki as Manga (英語)

発行元: 日文研・推進室、電子版2021年03月26日にて公開、<https://nichibun.repo.nii.ac.jp>。まんが訳絵巻物「酒吞童子」の英語である。



機関拠点型基幹研究プロジェクト
大衆文化の通時的・国際的研究による
新しい日本像の創出



大衆文化研究プロジェクトニュースレター

No.05=2021

タイトルデザインの図版の原典は左からの順で以下の通りです。

- 1)「福富長者物語」
神谷詮敬(1775年写)日文研所蔵
- 2)「百鬼ノ図」
伝土佐光吉(1539-1613)日文研所蔵
- 4)「絵葉書世界」第14号より、日文研所蔵
- 5) 山路亮輔(2015年)「縦スクロールまんが」より

大衆文化研究プロジェクトニュースレター
(No. 5: 2021年07月30日発行)

発行: 国際日本文化研究センター
プロジェクト推進室

前川 志織 特任助教
稲垣 智恵 プロジェクト研究員
アルバロ・エルナンデス プロジェクト研究員

〒610-1192京都市西京区御陵大枝山町3-2
tel: 075-335-2079
fax: 075-335-2090
e-mail: taishu_staff@nichibun.ac.jp
<http://taishu-bunka2.rspace.nichibun.ac.jp/>